

PIERS研究会 第4クール活動方針、2023年度活動計画

R5/4/21 2023年度PIERS研究会総会で承認

今回（一部追加）報告

今回提案

今回報告

今回提案

会則第4条事業	2019～2021活動実績	第4クール（2022～24年度）活動方針	2022年度活動実績	2023年度活動計画
研究会運営	●総会開催（'19/4/26）（'21/6/30） 2020.年度総会は、コロナのため、開催を見合わせ	■総会・役員会を開催する ■会員の拡大をさらに進める ■関係団体との連携強化を図る	●総会 2022年度総会は開催を見合わせ	■総会を開催する（'23/4/21） ■国内関係諸団体との提携を進め、これまでの成果の活用を目指す
国際活動	●英国棧橋協会総会（オンライン開催、'21/6/12）に参加	■海外棧橋及び海岸に関する調査を継続する ■英国棧橋協会との交流を継続する		■英国棧橋協会総会に参加を検討する ■次回海外調査の対象地域を検討する
調査・研究活動 資料収集・保管・公開	●日本国内におけるPIERS事業化可能性検討調査の開始 会員から公募 19名参加、2019/10～12 ・「博多湾及び関門海峡地域」における親水空間の実態調査 ・「日本海沿岸越後地域」における親水空間の実態調査 ・「東北震災復興地域」における親水空間の実態調査 報告書とりまとめ、内部資料として印刷（2020年8月） ●国内各地のプロジェクトについてセミナー開催 <その1> 稲毛海岸海浜公園、千葉市公園緑地部（'21/6/30）	■優先するテーマを選定し、自主研究を進める ・海外の棧橋に関する調査・研究 ・日本に現存する棧橋選定プロジェクトの推進 ・日本型エスプラナードに関する研究・提言 ・今後の海岸管理のあり方についての研究 ■上記研究のために国内の港湾・海岸の現地調査を実施する ■国内の海辺活用のプロジェクトについて情報を収集する ・プロジェクト関係者の参画を得てセミナーを企画 ■設立済みの研究会を活用する ・沿岸域における地方創生研究会（沿創研）	● 稲毛海岸海浜公園プロジェクト進捗状況現地調査（'22/11/2）	■「日本国内におけるPIERS事業化可能性検討調査」を継続する ・親水空間実態調査2019（3地域）のフォローアップ （関係者との意見交換、個別のアドバイス等） ・東京湾・大阪湾での親水空間実態調査を企画（時期 '23/9～11） （各湾ごと、1泊2日、10人程度、車2台、報告書作成、参加法人で費用分担） ■日本で整備を検討する指針となる「エスプラナード読本」を作成・出版する ・欧州各国のエスプラナードについての分類・整理 ・国内事情に適応したエスプラナードの整備指針とりまとめ ・PIERS研究会の研究成果として公表・印刷を目指す ■「日本で見つけた海の上を歩いて楽しむ棧橋」リストアップを推進する ・国内の棧橋候補リスト素案作成、暫定的な審査基準の提示 ・英国棧橋協会へ「日本の棧橋」についての情報提供を検討 ■国内各地のプロジェクトについて幅広く情報を収集する ・具体化しているプロジェクトに関して当事者から直接話を聞くセミナーを企画
コンサルティング業務 WF計画の促進	●千葉市稲毛海浜公園プロジェクト関連の活動 千葉市都市局公園緑地部緑政課のご要望により、現地調査、意見交換を実施	■アドバイザー活動 ・委託業務については要請に応じて取り組む ・大都市圏・地方圏を問わず、WFの魅力向上を図る構想・プロジェクトなど 地元の動きにアンテナを張り、具体的な助言・支援等を目指す		■アドバイザー業務等 ・当会のノウハウの活かせるテーマについては、積極的に取り組む
研究発表会、講演会等の 開催、見学視察等の実施	●PIERSフォーラムをオンライン方式で実施 ⑦2020/12/11,12/14 「GRIPSウェビナー第7回PIERSフォーラム」として実施 「海辺を生かした街づくり」 参加 199名（延べ） ⑧2022/3/10 「海の上を歩く英国の棧橋（その1）」 参加 98名	■調査研究活動の内容について、PIERSフォーラム等での発表を充実する	●PIERSフォーラムをハイブリッド方式で実施 ⑨2022/7/26 「海の上を歩く英国の棧橋（その2）」 参加 104名（リアル10名） ⑩2022/11/20 「海の上を歩く英国の棧橋（その3）」 参加 76名（リアル17名）	■PIERSフォーラムを継続・充実する ・年1～2回程度開催 ・幅広い話題提供に努める ・会員による英国・欧州の主要な棧橋の魅力の紹介 ・会員による沿創研ケーススタディーのフォローアップ ・外部講師による講演 ・自主研究成果の発表 ・行政・財団等の関係者のさらなる参画を目指す ・企画段階から会員の参画を推進
啓発・広報活動	●HPを随時更新、提供情報のビジュアル化を推進 ・フォーラムの開催報告に映像情報を追加・充実	■ホームページの一層の充実を図る ■学会誌等へ論文を投稿する ■日英協会主催の講演会や港湾関連団体主催のセミナーでの発表を検討する ■地方創生への活用に向けて、国、地方への浸透に努める ■内部資料という位置づけは変えない範囲で、これまでの報告書の配布条件緩和を検討する	●HPを随時更新、提供情報のビジュアル化を推進 ・フォーラムの開催報告に映像情報を追加・充実 ●活動のデジタル環境としてインフラ・ソフトを充実 ・ZOOM Meetingを年間で契約、フォーラムはWebinarを随時追加契約 ・ソフトを整備、特に動画編集ソフト（Bandicam、DaVinci）を購入	■「動画シリーズ」を継続して発信する ・フォーラムでの「歩いて巡る棧橋シリーズ」を一つの柱とする 研究会保有の情報を活用して、棧橋の魅力が多角的にアピールする内容 蘭伯独の棧橋にも広げていく フォーラム映像をHPに公開して発信 ・過去の発表や調査報告なども再映像化して、HP、U-Tubeへのアップ等を検討 ■研究会活動のためのオンライン環境の充実 ・総会、日常の打ち合わせなどはZOOM Meetingでオンライン化 ・多人数参加のフォーラムではWebinarの追加契約で対応 ・議論の活性化のためリアル参加の機会を状況を見て増やす 一方で、遠隔地や業務都合への対応としてハイブリッド方式を活用 ■HPは随時に情報を追加・更新する ■学会誌・協会誌へ論文を投稿を目指す